

感染状況・医療提供体制の分析（12月16日時点）

【12月17日モニタリング会議】

区分	モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出		前回の数値 (12月9日公表時点)	現在の数値 (12月16日公表時点)	前回との比較	(参考) これまでの最大値	項目ごとの分析※4	
感染状況	①新規陽性者数※5 (うち65歳以上)		424.6人 (67.1人)	513.1人 (73.0人)		451.9人 (2020/12/3)	総括コメント	感染が拡大していると思われる
	潜在・市中感染	②#7119（東京消防庁救急相談センター）※1における発熱等相談件数	56.9件	63.4件		117.1件 (2020/4/5)	65歳以上の新規陽性者数が増加しており、高齢者への感染の機会を、あらゆる場面で減らすことが必要である。 日常生活のなかで感染するリスクが高まっており、医療提供体制の深刻な機能不全を避けるための最大限の感染拡大防止策が必要である。	
		③新規陽性者における接触歴等不明者※5	232.1人	293.1人		249.7人 (2020/12/3)		
		数 増加比※2	93.1%	126.3%		281.7% (2020/4/9)		
医療提供体制	検査体制	④検査の陽性率（PCR・抗原）（検査人数）	6.1% (6,509.4人)	6.7% (7,049.3人)		31.7% (2020/4/11)	総括コメント	体制が逼迫していると思われる
	受入体制	⑤救急医療の東京ルール※3の適用件数	43.0件	46.0件		100.0件 (2020/5/5)	入院患者の引き続き増加傾向に伴い、新型コロナウイルス感染症患者のための医療と、通常医療との両立が困難な状況となった。 新規陽性者数の増加を抑制するための対策を強化し、重症患者数の増加を防ぐことが最も重要である。	
		⑥入院患者数 (病床数)	1,820人 (3,000床)	1,960人 (3,000床)		1,856人 (2020/12/6)		
		⑦重症患者数 人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者（病床数）	59人 (200床)	69人 (200床)		105人 (2020/4/28,29)		

※1「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※2 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※3「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※4 分析にあたっては、上記項目以外にも新規陽性者の年齢別発生状況などの患者動向や病床別入院患者数等も参照

※5 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。